

SETAC Japan Chapter (一般社団法人セタックジャパン)

2019.4 – 2020.3

Annual Report



2020年8月発行

代表理事よりご挨拶

拝啓

SETAC-J 設立、一般法人として活動開始して 5 年が経過致しました。この間、国内の活動として環境化学会、環境毒性学会および環境ホルモン学会への協力、協賛等行ってきました。昨年は 9 月の第 25 回環境毒性学会 (9 月 25-27 日) の開催にあわせてつくばで会員集会を実施いたしました。また、昨年 6 月にさいたま市開催された第 28 回環境化学討論会では 3 名の SETAC 賞の授与も行い、12 月 12-13 日の環境ホルモン学会研究集会の支援と環境ホルモン学会とともに環境化学会北海道東北支部研修会 (令和 2 年 2 月 5 日) の支援も行いました。

海外では、インドネシアにおける環境管理センターを中心とした水銀管理に関するプログラム、河川水質改善のための川崎市一バンドン市間の都市間連携事業の現地活動に参画しました。さらに本年 2 月末には西ジャワ州のチタルム川流域環境改善に関するセミナーに協賛し関連日本系企業のビジネス支援を実施致しました。

令和 2 年は 9 月にシンガポールで 2020 SETAC World Congress を開催予定でしたので途上国活動支援、若手の参加費補助等実施予定でしたが、残念ながらコロナ禍の中延期となりました。さらに環境省の東南アジア対象のプラスチックゴミ現地研修プログラム関連事業に協賛を考えておりますが、当面日本からの遠隔支援となりそうです。

年会費の納入につきまして昨年もお願いしましたが、会員の皆様には [SETAC-J のホームページのリンク先の SETAC-AP 経由](#)で手続き頂きます様お願い致します。又、SETAC-J の活性化につきまして、会員の皆様からのご意見や企画提案等お待ちしております。

敬具

一般社団法人セタックジャパン

代表理事 有菌 幸司

(熊本県立大学薬学部 特任教授)

SETAC について

The Society of Environmental Toxicology and Chemistry (SETAC) は、「科学を通じて、より良い環境へ」をスローガンに、環境の諸問題に対する研究や分析・解析、天然資源に関する管理や規制、環境教育、研究開発に携わっている個人や組織から構成されている非営利目的の国際的な団体です。

「環境にかかわる諸問題を解決するための多方面にわたるアプローチ」「産官学の連携」「科学的基盤に立った客観性の堅持」の 3 点を設立理念として、1979 年に北米での設立以来、ヨーロッパ、アジアパシフィック、ラテンアメリカ、アフリカでの地域ユニットが設立され、環境化学と環境毒性に関する学会としてはグローバル最大の規模で活動しています。

日本支部 (Japan Chapter) は、Asia-Pacific (アジアパシフィック) 地域ユニットの下部組織として 2015 年に設立しました。日本が培ってきた環境マネジメントの多岐にわたる分野の専門家が集い、日本及び東アジア地域のさらなる環境対策研究・技術・手法の協力的発展に貢献することを目的として、日本国環境省、日本国際協力機構、日本貿易振興機構や国内企業などと連携した環境保全に対する科学的、社会的アプローチ体制を日本及び東アジア地域で展開していきます。

会員

(2020 年 3 月 31 日時点)

SETAC Asia-Pacific 日本人会員 (SETAC Japan 個人正会員) : 68 名

(過去 2 年以内に期限切れ)

SETAC Japan 企業会員 (入会日順・敬称略) :

Gold 1 社 [株式会社グロービック](#)

Silver 2 社 [三浦工業株式会社](#) [瑞輝科学生物株式会社](#)

その他 Bronze 3 社



活動報告

- ① 環境省及び JICA から今年も協力要請のあったインドネシアにおける河川水質改善のための川崎市一バンドン市間の都市間連携事業や西ジャワ州のチタルム川流域環境改善事業に関する時事業に参画しました。川崎市一バンドン市間の都市間連携に協賛し 2020 年 2 月 10-15 日バンドン市で行われたオンサイトトレーニング及び研修セミナーに協力、さらに 2 月 27 日に行われた環境省主催西ジャワ州チタルム川環境改善事業の現地セミナーに有菌理事長・上山事務局長が会議に参加しました。あわせて 2 月 10 日には西ジャワ州環境清掃局と合同でチタルム川において河川水サンプリングを行い西ジャワ州による同河川の汚染現状評価の支援を行いました。

2019 年 9 月 19 日-22 日 EMC の再生プロジェクトでは、引き続き環境省やインドネシア JICA より協力要請があり、水銀センター設立やラボ設計及び仕様に関する会議に有菌理事長と上山事務局長が参加しました。

- ② SETAC-J 集会の実施（つくば市）
第 25 回環境毒性学会（令和元年 9 月 25 - 27 日）の開催にあわせて実施。
会場にてポスター展示と最終日に SETAC-J の PR のための発表をした。
- ③ 環境化学討論会にて SETAC 賞授与
会期, 令和元年 6 月 12 日（水）～6 月 14 日（金）会場, 埼玉会館
- ④ その他関連学会等の共催・協賛・後援・協力および展示広報活動の実施

共催：なし

協賛：環境ホルモン学会 第 22 回研究発表会にて展示参加
（令和元年 12 月 12-13 日東京大学弥生会館）

後援：なし

協力：環境化学討論会（令和元年 6 月 12-14 日 さいたま市埼玉会館）SETAC 賞

展示と発表：日本環境毒性学会研究発表会（つくば市）

その他：環境ホルモン学会通じて環境化学会北海道東北支部研修会
（2 月 5 日 北大獣医）の支援



2019 年 6 月 第 28 回環境化学討論会 SETAC 賞
（画像 愛媛大学 HP より）



2019年12月 第22回環境ホルモン学会 東京大学 弥生会館
SETAC-Jのブース開設



2020年2月 環境省主催 西ジャワ州チタルム川環境改善事業の現地セミナー 参加



2019年9月 EMC再生プロジェクト 水銀センターやラボの打合せ

会計報告

収入：¥925,696.-

支出：¥1,461,687.-

所在地

*：令和2年7月より SETAC-J 本部を熊本大学薬学教育部に移管しました。

本部： 〒862-0973 熊本市中央区大江本町 5-1
熊本大学薬学部 機器分析施設 有菌幸司
TEL/FAX:096-371-4842 arizono@kumamoto-u.ac.jp

東京事務所： 〒111-0041 東京都台東区元浅草 1-8-6
株式会社グロービック 東京事業所内
TEL 03-5246-4148 FAX 03-5246-4149
info@setac-ea.org website URL: <http://www.setac-ea.org/>